



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月8日
上場取引所 東

上場会社名 芙蓉総合リース株式会社
コード番号 8424 URL <https://www.fgl.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 織田 寛明
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 岸田 勇輔 TEL 03-5275-8800
四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月7日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	356,063	24.7	27,017	14.9	31,137	13.2	20,304	12.3
2022年3月期第2四半期	285,426	△20.1	23,511	12.3	27,497	20.7	18,078	30.3

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期35,431百万円 (45.3%) 2022年3月期第2四半期24,381百万円 (64.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	677.63	673.95
2022年3月期第2四半期	602.58	598.75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	2,991,392	398,274	11.9	11,923.45
2022年3月期	2,949,704	374,239	11.3	11,121.96

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 357,407百万円 2022年3月期 332,834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	130.00	—	155.00	285.00
2023年3月期	—	158.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	158.00	316.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	700,000	6.4	51,500	11.9	56,000	6.2	36,000	6.2	1,202.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」及び「同(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	30,287,810株	2022年3月期	30,287,810株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	312,657株	2022年3月期	361,957株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	29,964,487株	2022年3月期2Q	30,001,749株

(注) 当社は「株式給付信託(BBT)」を導入しており、期末自己株式数については、「株式給付信託(BBT)」が保有する当社株式(2023年3月期2Q 149,800株、2022年3月期 177,100株)を含めております。また、期中平均株式数(四半期累計)の計算において控除する自己株式については、「株式給付信託(BBT)」が保有する当社株式(2023年3月期2Q 152,928株、2022年3月期2Q 92,213株)を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(会計方針の変更)	P. 7
(会計上の見積りの変更)	P. 7
(セグメント情報)	P. 8
3. 補足情報	P. 10
(1) 契約実行高	P. 10
(2) 営業資産残高	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の契約実行高は前年同期比9.0%増加の7,016億8千7百万円となりました。

損益面では、売上高は前年同期比24.7%増加の3,560億6千3百万円、営業利益は前年同期比14.9%増加の270億1千7百万円、経常利益は前年同期比13.2%増加の311億3千7百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比12.3%増加の203億4百万円となりました。

売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、ともに前年同期を上回る実績となり、各段階利益については第2四半期の過去最高実績を更新しております。なお、中期経営計画の経営目標に設定している経常利益は、第2四半期としては2018年3月期から6期連続で最高実績を更新しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。各セグメントにおける売上高については「外部顧客への売上高」の金額、セグメント利益については報告セグメントの金額を記載しております。

[リース及び割賦]

リース及び割賦の契約実行高は2,052億4千万円と前年同期比13.9%減少し、営業資産残高は前連結会計年度末比3.0%減少して1兆7,048億2千6百万円となりました。リース及び割賦の売上高は前年同期比24.8%増加して3,190億4百万円となり、セグメント利益は前年同期比21.3%増加して190億4千3百万円となりました。

[ファイナンス]

ファイナンスの契約実行高は4,963億3千7百万円と前年同期比22.5%増加し、営業資産残高は前連結会計年度末比11.5%増加して8,661億3千7百万円となりました。ファイナンスの売上高は前年同期比4.4%増加して120億9千2百万円となり、セグメント利益は前年同期比0.1%増加して91億9千1百万円となりました。

[その他]

その他の契約実行高は1億9百万円と前年同期比2.9%増加し、営業資産残高は前連結会計年度末比3.7%減少して306億2千2百万円となりました。その他の売上高は前年同期比36.9%増加して249億6千6百万円となり、セグメント利益は前年同期比31.5%増加して58億3千5百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の営業資産残高は、前連結会計年度末比1.4%増加の2兆6,015億8千6百万円となり、総資産は前連結会計年度末比1.4%増加の2兆9,913億9千2百万円となりました。当第2四半期連結会計期間末において、間接調達、短期借入金及び長期借入金が増加したことにより、前連結会計年度末比3.1%増加して1兆7,295億2千3百万円となり、直接調達は、社債は増加したもののコマーシャル・ペーパー及び債権流動化に伴う長期支払債務の減少などにより、前連結会計年度末比4.0%減少して6,616億7千7百万円となりました。この結果、当第2四半期連結会計期間末の調達残高は、前連結会計年度末比1.1%増加して2兆3,912億1百万円となりました。直接調達比率は27.7%となり、前連結会計年度末に比べ、1.4ポイント低下いたしました。

株主資本合計は、利益剰余金の増加などにより前連結会計年度末比3.6%増加の3,032億3千2百万円となり、当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末比240億3千5百万円(6.4%)増加して3,982億7千4百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末比0.6ポイント上昇し11.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月10日の「2022年3月期決算短信」で公表いたしました2023年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	72,157	79,672
割賦債権	66,877	59,467
リース債権及びリース投資資産	1,019,764	898,088
営業貸付金	316,633	345,563
その他の営業貸付債権	114,443	114,767
営業投資有価証券	323,021	378,795
その他の営業資産	23,344	27,946
賃貸料等未収入金	24,807	25,020
その他	66,556	64,980
貸倒引当金	△2,717	△2,561
流動資産合計	2,024,888	1,991,742
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産		
貸貸資産	671,643	747,899
貸貸資産前渡金	15,111	3,463
貸貸資産合計	686,754	751,362
その他の営業資産	31,801	30,622
建設仮勘定	4,673	7,689
社用資産	3,754	3,727
有形固定資産合計	726,984	793,401
無形固定資産		
貸貸資産	195	167
その他の無形固定資産		
のれん	21,234	20,499
その他	9,367	9,455
その他の無形固定資産合計	30,602	29,954
無形固定資産合計	30,797	30,122
投資その他の資産		
投資有価証券	120,259	128,834
破産更生債権等	539	347
退職給付に係る資産	88	445
繰延税金資産	2,976	2,863
その他	42,554	43,051
貸倒引当金	△331	△196
投資その他の資産合計	166,087	175,346
固定資産合計	923,869	998,871
繰延資産		
創立費	1	4
開業費	944	774
繰延資産合計	945	779
資産合計	2,949,704	2,991,392

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,441	31,276
短期借入金	568,563	577,209
1年内償還予定の社債	30,000	35,000
1年内返済予定の長期借入金	328,958	377,573
コマーシャル・ペーパー	371,000	331,000
債権流動化に伴う支払債務	29,400	29,200
1年内支払予定の債権流動化に伴う長期支払債務	16,508	10,050
リース債務	10,827	8,960
未払法人税等	8,145	7,793
割賦未実現利益	810	795
賞与引当金	2,811	2,847
役員賞与引当金	200	93
役員株式給付引当金	205	—
未経過リース料引当金	3	3
債務保証損失引当金	31	27
資産除去債務	1	1
その他	48,564	45,932
流動負債合計	1,451,473	1,457,767
固定負債		
社債	227,137	245,273
長期借入金	779,458	774,740
債権流動化に伴う長期支払債務	15,197	11,153
リース債務	530	394
繰延税金負債	17,122	17,773
退職給付に係る負債	2,974	2,859
役員退職慰労引当金	160	182
役員株式給付引当金	410	518
メンテナンス引当金	476	432
債務保証損失引当金	440	360
資産除去債務	3,825	3,995
その他	76,256	77,665
固定負債合計	1,123,990	1,135,350
負債合計	2,575,464	2,593,117
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,532	10,532
資本剰余金	7,278	1,902
利益剰余金	277,361	292,923
自己株式	△2,463	△2,126
株主資本合計	292,709	303,232
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,547	37,652
繰延ヘッジ損益	△3,932	△6,106
為替換算調整勘定	5,509	22,541
退職給付に係る調整累計額	△0	87
その他の包括利益累計額合計	40,124	54,174
新株予約権	650	583
非支配株主持分	40,754	40,284
純資産合計	374,239	398,274
負債純資産合計	2,949,704	2,991,392

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	285,426	356,063
売上原価	241,952	307,579
売上総利益	43,473	48,483
販売費及び一般管理費	19,962	21,466
営業利益	23,511	27,017
営業外収益		
受取利息	7	19
受取配当金	1,249	1,154
為替差益	—	496
投資事業組合運用益	193	322
持分法による投資利益	1,681	2,573
償却債権取立益	1,423	37
債務保証損失引当金戻入額	86	83
その他	232	297
営業外収益合計	4,873	4,986
営業外費用		
支払利息	359	454
社債発行費	26	16
為替差損	210	—
投資事業組合運用損	28	43
匿名組合損益分配額	237	296
その他	25	56
営業外費用合計	888	867
経常利益	27,497	31,137
特別利益		
投資有価証券売却益	300	1
特別利益合計	300	1
特別損失		
投資有価証券評価損	196	62
段階取得に係る差損	2	—
減損損失	0	0
固定資産処分損	6	30
退職給付制度改定損	9	—
特別損失合計	215	93
税金等調整前四半期純利益	27,582	31,045
法人税等	8,121	9,746
四半期純利益	19,460	21,298
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,382	993
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,078	20,304

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	19,460	21,298
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	187	△885
繰延ヘッジ損益	220	△2,269
為替換算調整勘定	4,813	15,920
退職給付に係る調整額	16	220
持分法適用会社に対する持分相当額	△317	1,147
その他の包括利益合計	4,921	14,132
四半期包括利益	24,381	35,431
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,993	34,354
非支配株主に係る四半期包括利益	1,387	1,076

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である㈱ジーアイ・ホールディングスの株式を追加取得したことにより、資本剰余金が5,376百万円減少しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これにより、一部の投資信託について、従来は、参考価格によって評価を行っておりましたが、基準価額により評価を行う方法へ変更しております。

(会計上の見積りの変更)

当社グループが賃貸資産として保有する航空機については、主として、耐用年数を21年、当該リース物件取得価額の10%となるような残存価額率を基礎に、リース契約期間満了時の処分額を見積もり、これを残存価額としてきました。第1四半期連結会計期間期首より、主として、耐用年数を25年、取得価額の15%となるような残存価額率に見直し、将来にわたり変更しております。

当社グループは、第1四半期連結会計期間期首開始の新中期経営計画より、賃貸資産として保有する航空機について、保有機材を長期保有するビジネスモデルから、市場環境等に応じ入れ替えを行うビジネスモデルに変更しました。これを契機に、第1四半期連結会計期間において、航空機リースに係る取引実績データが蓄積されてきたこと及び将来にわたる航空機需要の見通し等に基づき、航空機の耐用年数及び残存価額について検討を行った結果、航空機の長期的な需要や運航可能年数の長期化等を踏まえ、より実態に即した耐用年数及び残存価額に変更を行うものです。

この結果、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,082百万円増加しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	リース及び割賦	ファイナンス	その他	合計
売上高				
外部顧客への売上高	255,602	11,583	18,240	285,426
セグメント間の内部売上高 又は振替高	692	1,674	1,102	3,468
計	256,294	13,258	19,342	288,895
セグメント利益	15,703	9,182	4,439	29,325

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	29,325
セグメント間取引消去	△383
全社費用(注)	△5,430
四半期連結損益計算書の営業利益	23,511

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

のれんの金額の重要な変動はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	リース及び割賦	ファイナンス	その他	合計
売上高				
外部顧客への売上高	319,004	12,092	24,966	356,063
セグメント間の内部売上高 又は振替高	378	1,719	1,749	3,847
計	319,382	13,812	26,716	359,911
セグメント利益	19,043	9,191	5,835	34,071

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	34,071
セグメント間取引消去	△1,336
全社費用(注)	△5,717
四半期連結損益計算書の営業利益	27,017

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

のれんの金額の重要な変動はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。

3. 補足情報

(1) 契約実行高

セグメントの名称		前第2四半期 連結累計期間 (2021年4月1日～ 2021年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (2022年4月1日～ 2022年9月30日)		対前年同期増減	
		契約実行高 (百万円)	構成比 (%)	契約実行高 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
リース及 び割賦	ファイナンス・リース	124,113	19.3	112,844	16.1	△11,268	△9.1
	オペレーティング・リース	103,082	16.0	80,598	11.5	△22,484	△21.8
	リース計	227,195	35.3	193,443	27.6	△33,752	△14.9
	割賦	11,261	1.7	11,797	1.7	535	4.8
	リース及び割賦計	238,457	37.0	205,240	29.3	△33,216	△13.9
ファイナンス		405,318	63.0	496,337	70.7	91,018	22.5
その他		106	0.0	109	0.0	3	2.9
合計		643,882	100.0	701,687	100.0	57,804	9.0

(注) 1. オペレーティング・リースは、賃貸物件の取得価額を記載しております。なお、再リース取引の実行額は含んでおりません。

2. リースについては、当第2四半期連結累計期間に取得した賃貸用資産の購入金額、割賦については、実行時の割賦債権から割賦未実現利益を控除した額を表示しております。

(2) 営業資産残高

セグメントの名称		前連結会計年度末 (2022年3月31日)		当第2四半期 連結会計期間末 (2022年9月30日)		対前連結会計年度末比 増減	
		期末残高 (百万円)	構成比 (%)	期末残高 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
リース及 び割賦	ファイナンス・リース	1,019,764	39.7	898,088	34.5	△121,675	△11.9
	オペレーティング・リース	671,838	26.2	748,066	28.8	76,228	11.3
	リース計	1,691,602	65.9	1,646,155	63.3	△45,446	△2.7
	割賦	66,067	2.6	58,671	2.2	△7,396	△11.2
	リース及び割賦計	1,757,669	68.5	1,704,826	65.5	△52,843	△3.0
ファイナンス		776,467	30.3	866,137	33.3	89,670	11.5
その他		31,801	1.2	30,622	1.2	△1,179	△3.7
合計		2,565,939	100.0	2,601,586	100.0	35,647	1.4

(注) 割賦については、割賦債権から割賦未実現利益を控除した額を表示しております。